

Panasonic

フィルムタイプダイバーシティTV アンテナ

品番 **CL-T90D**

取扱説明文

室内専用のフロントウインドウ貼り付け型のアンテナです。(アンテナアンプ付属)
当社車載用テレビ、カーナビゲーションに接続できます。
室内に取り付けるため、洗車時の破損や駐車時の盗難の心配がありません。

貼り付け・配線をするためには、フロントウインドウ周りの内張り(ピラー・ルーフライニングなど)を一時的に取りはずす必要がありますので、ご了承ください。

受信感度を確保するため、アース板を貼り付ける部分(フロントウインドウ周りの金属部)の塗装をはがす必要がありますので、ご了承ください。

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 カーシステムビジネスユニット

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

お客様相談センター 電話 ☎ 0120-50-8729

FAX 045-939-1939

受付 9:00 ~ 17:00(土・日・祝日・弊社休日を除く)

YEFM283947

FX0902-0

安全にお使いいただくために

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

警告

運転や視界の妨げになる位置に取り付けない

禁止 前方の視界の妨げになる位置など運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因になります。

分解や改造はしない

分解禁止 本機を分解したり改造すると、発煙、発火の原因になります。

DC12Vアース車で使用する

注意 本機はDC12Vアース車専用です。DC24V車(大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。火災や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は、バッテリーの端子を必ずはずす

禁止 バッテリーの端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

注意 規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。

取り付け・アース配線等に、保安部品を絶対に使わない

禁止 保安部品(ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど)のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

禁止 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

注意 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する

注意 配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

はがれないようにしっかり取り付ける

注意 取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて、事故の原因になります。時々点検してください。

貼付許容範囲内に取り付け

注意 国土交通省の定める保安基準に適合する位置・寸法(貼付許容範囲内)に貼り付けないと、道路交通法違反となります。貼付許容範囲については、本書の「貼付位置について」をご覧ください。

コードを破損しない

禁止 断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。車体やねじ・可動部(シートレールなど)への挟み込みで破損しないように引き回す。傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

取扱注意

本製品は、可能な限り破損しにくい設計になっていますが、フィルムタイプアンテナという製品の性質上、やむを得ず十分な強度が得られない箇所があります。

本書では、そういった箇所を **取扱注意** で表しています。

このマークの箇所は、絶対に、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじるなどしないでください。破損の原因になります。

付属品の確認

アンテナ (4枚1組)	2組
アンテナコード (アンテナアンプ付属).....	1個
紙ヤスリ	1枚
樹脂クランパー	8個
金属クランパー	8個
スキージ	1個
保護シート	1枚
貼付補助シート	1枚

貼り損じたときのために、アンテナは、予備が1組同梱されています。

仕様

電源電圧： DC12 V (11 V-16 V)
⊖アース (試験電圧 14.4 V)
消費電流： 100 mA
アンテナインピーダンス： 75 × 4 (ミニプラグ付)
アンテナコードの長さ：
1： 1.8 m (アンテナ側)/3.0 m (端子側)
2： 2.2 m (アンテナ側)/3.0 m (端子側)
3： 2.9 m (アンテナ側)/3.0 m (端子側)
TV OR FM： 3.0 m (アンテナ側)/3.0 m (端子側)
アクセサリコード、アースコード： 3.0 m
質量： 550 g
(アンテナ、アンテナアンプ、アンテナコード)

貼り付ける前に

車種によって、取り付けられない場合があります。販売店に相談してください。

- ・熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
- ・ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には、取り付けできません。

必ずフロントウインドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。(☞下記参照)

- ・保安基準に適合させるため、本書をよくお読みのうえ、正しく貼り付けてください。
- ・フロントウインドウ専用です。車体の側面(ドアやフロントクォーターウインドウなど)や、後面(リアウインドウなど)に貼り付けると、受信感度が低下する場合があります。

保安基準は、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省(当時)告示第820号をいいます。

中性洗剤の水溶液や削った部分の塗膜片などでダッシュボードを汚さないように、布やシートなどで覆ってください。

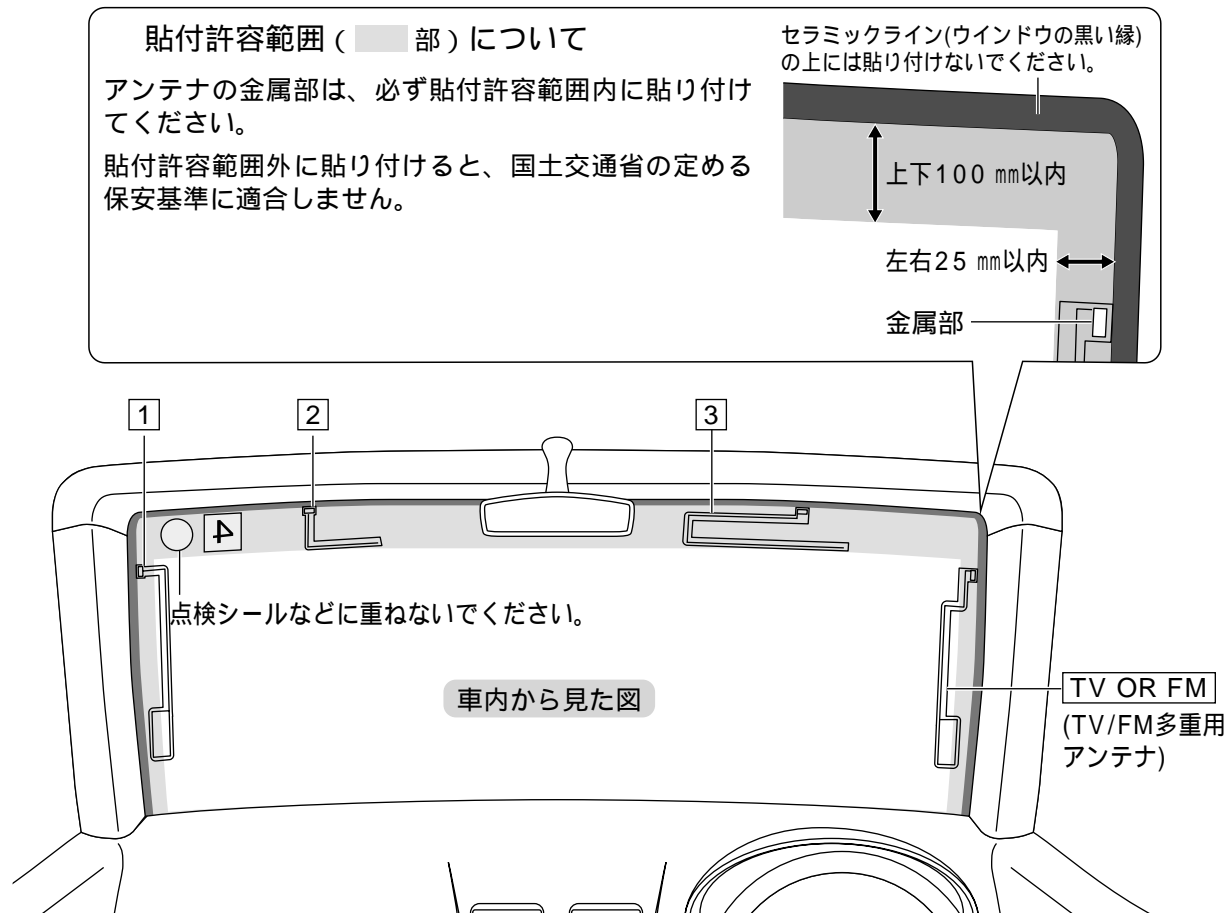
アンテナを接続する機器(テレビチューナーなど)の説明書も併せてご覧ください。

一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼りなおしできません。
必ずコードおよびアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

貼付位置について

保安基準に適合させるため、また、性能を十分に発揮するために、必ず下記の位置に貼り付けてください。

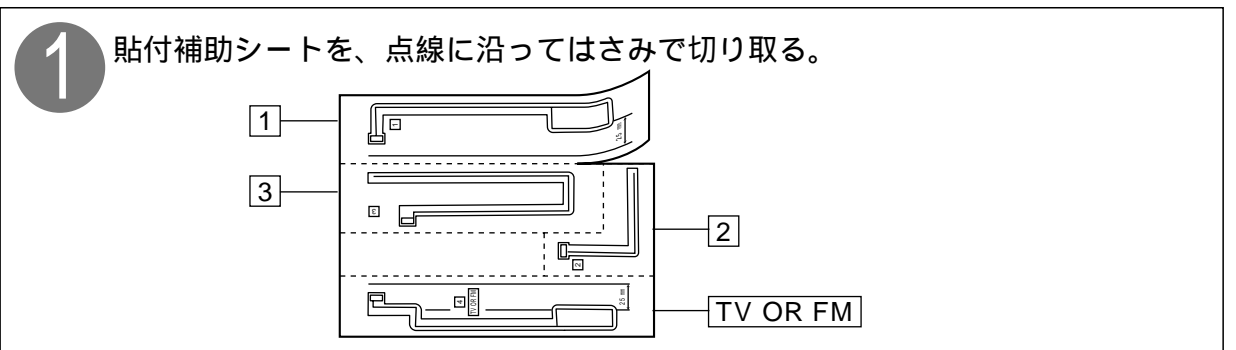
左ハンドル車に貼り付ける場合も、下図のとおりに貼り付けてください。(左右逆に貼らないでください。)



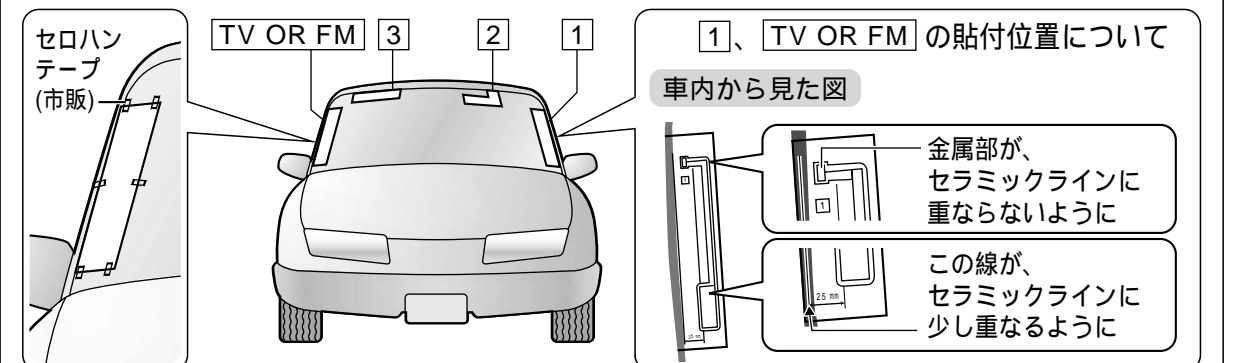
1 貼付補助シートを貼る

アンテナを貼り付ける位置のめやすとして、貼付補助シートを貼り付けてください。

①~③、[TV OR FM]は、貼り付ける位置や向き、貼付許容範囲が決まっています。左図をよくご覧になり、正しく位置決めしてください。



2 印刷面を車内側に向けて、フロントウインドウの外側に貼付補助シートを貼り付ける。
位置や向きが正しく貼り付けられているか、車内から確認してください。
はじめから細かい位置まで決めずに、コードや端子の位置を確認しながら微調整してください。

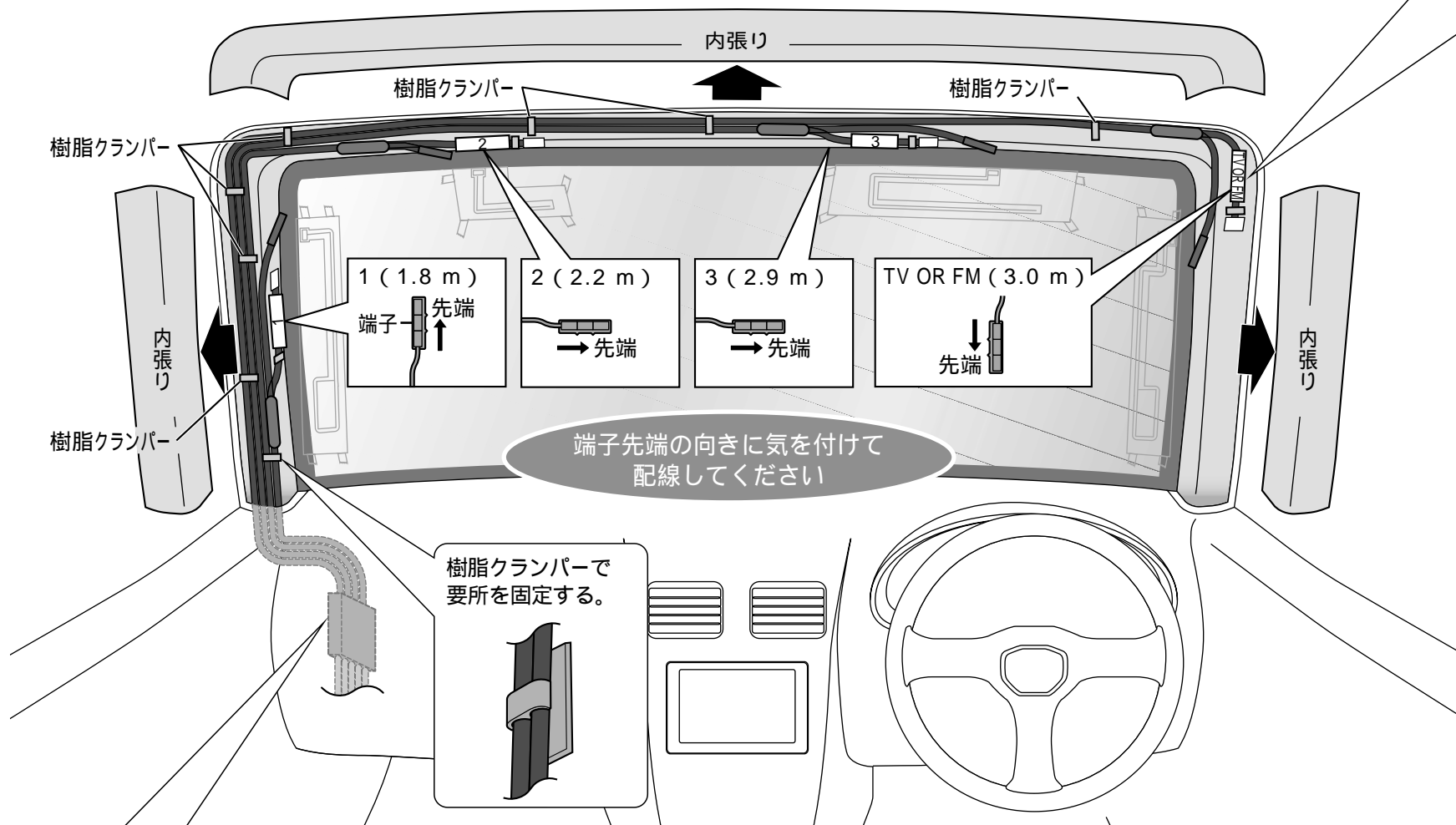


2 コードを配線する

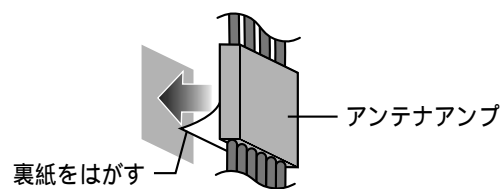
1 内張り（ピラー・ルーフライニングなど）を取りはずす。

2 貼付補助シートをめやすく、コードを引き回す。

実際に配線する前に、コード類を市販のセロハンテープなどで仮止めして、端子がアンテナの金属部に貼り付けられることを確認してください。
また、必要に応じてアンテナ（貼付補助シート）の位置も微調整してください。



4 アンテナアンプを、ダッシュボード裏などに貼り付ける。

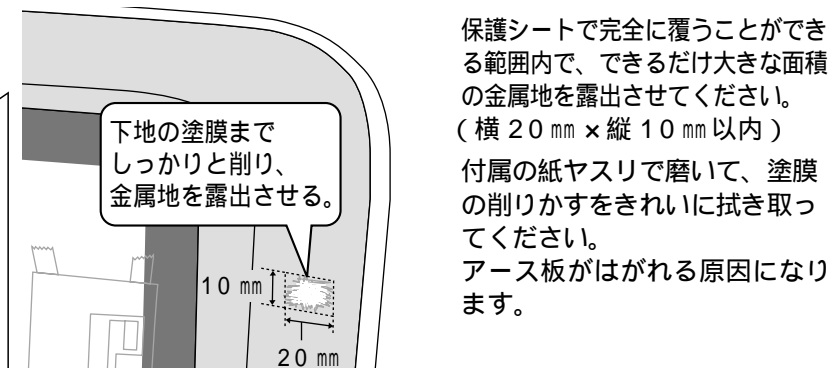


左ハンドル車に取り付ける場合は、アンテナアンプを運転の妨げにならないように、十分に気をつけて配線してください。（特に、アクセル・ブレーキの周りなどには配線しないでください。）

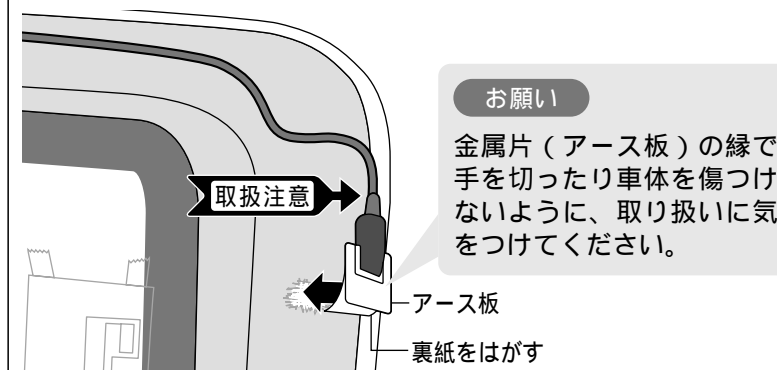
3 車体の金属部にアース板を貼り付ける。

アンテナの性能を十分に発揮させるために、アース板は、4枚ともしっかりと貼り付けてください。

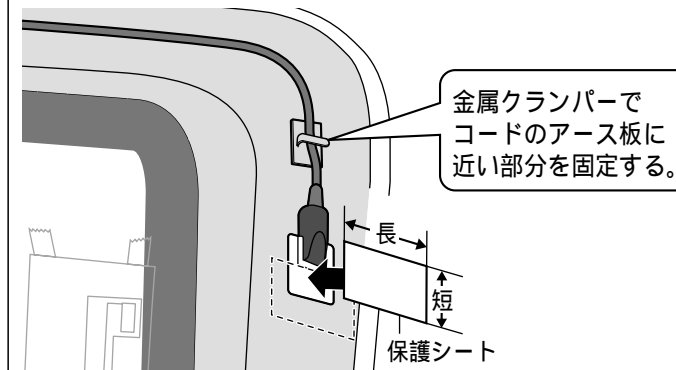
①アース板を貼り付けるところを削って、金属地を露出させる。



②アース板の裏紙をはがして、露出させた金属地の上に貼り付ける。



③保護シートを、アース板の上に貼り付ける。




アンテナを取りはずした場合は、露出した金属地に防サビ剤を塗ってください。

3 アンテナを貼り付ける

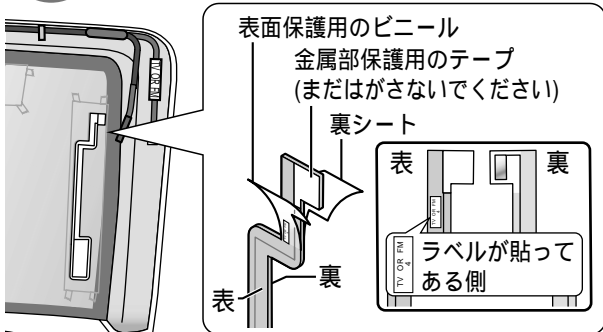
準備 あらかじめ、フロントウインドウの汚れ(ごみ・油など)やくもり止めを拭き取ってください。

1 中性洗剤の水溶液 を、霧吹きなどでフロントウインドウ(車内側)に吹き付ける。



水500ccに対して、中性洗剤1~2滴が適量です。(濃度が高いと、アンテナがうまく貼り付きません) 中性洗剤の界面活性剤(ぬめり)を利用して、貼付位置を微調整するので、必ず中性洗剤の水溶液を吹き付けてください。(水ではうまく微調整できません。)

2 表面保護用のビニールと裏シートをはがして、アンテナを貼り付ける。



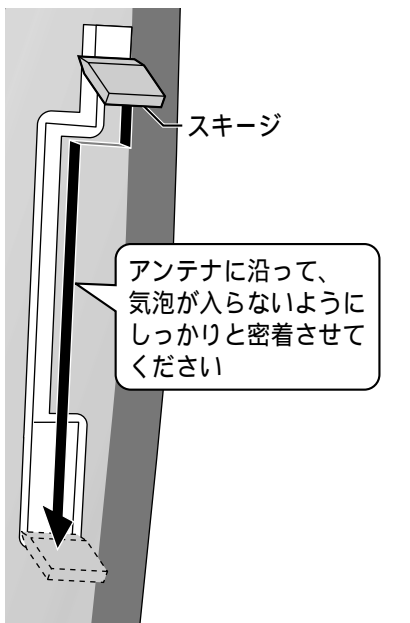
金属部保護用のテープは、まだはがさないでください。金属部に中性洗剤の水溶液がかかって故障の原因になります。

作業中にフロントウインドウが乾いた場合は、再度中性洗剤の水溶液を吹き付けてください。

貼付位置がずれた場合は、フロントウインドウが濡れている間に貼りなおしてください。

アンテナを貼り付けたあと、貼付補助シートをはがしてください。(気泡などを見つけやすくするため)

3 スキージで、アンテナをしっかりと密着させる。



アンテナに沿って、気泡が入らないようにしっかりと密着させてください

あまり強くこすらないでください。アンテナに傷がついたり、断線する恐れがあります。

4 残りのアンテナも、同様にして貼り付ける。

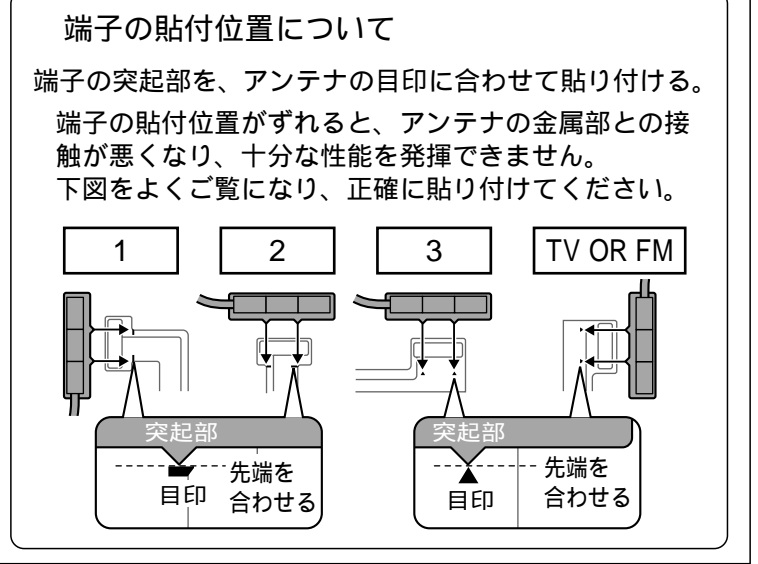
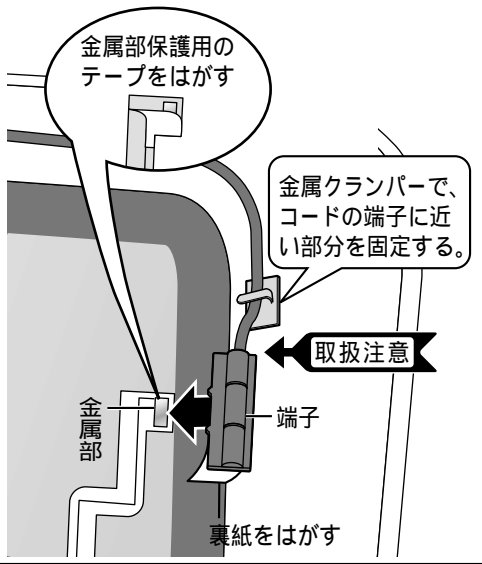


フロントウインドウ(車内側)の余分な中性洗剤の水溶液を拭き取ってください。拭くときに、アンテナを動かさないように気を付けてください。

そのまま4~5時間放置し、十分に乾燥させてください。

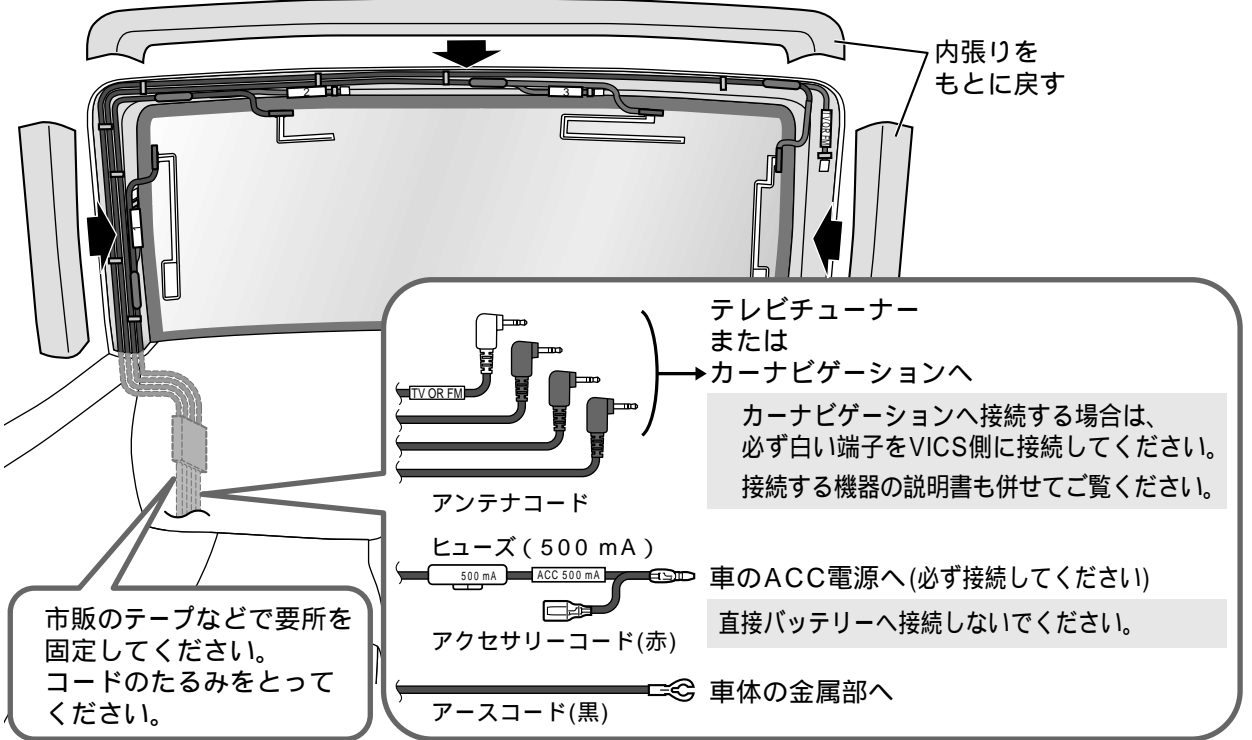
5 コードの端子を、アンテナの金属部に貼り付ける。

端子がしっかりと貼り付くように、アンテナの金属部の周りをもう一度きれいに拭いてください。残りのアンテナも、同様にして端子を貼り付けてください。



6 配線する。

外部アンプやフロントスピーカーのコードとはできるだけ離してください。



内張りをもとに戻す

市販のテープなどで要所を固定してください。コードのたるみをとってください。

テレビチューナーまたはカーナビゲーションへ

カーナビゲーションへ接続する場合は、必ず白い端子をVICS側に接続してください。接続する機器の説明書も併せてご覧ください。

アンテナコード

ヒューズ(500mA)

500mA ACC 500mA

アクセサリコード(赤)

車のACC電源へ(必ず接続してください)

直接バッテリーへ接続しないでください。

アースコード(黒)

車体の金属部へ